MUSEUM NEWS

2021.8 ► 2021.9

ボイス＋パレルモ

とき・7/10(土) ～ 9/5(日)

※　会期中一部作品の展示替えがあります。
前期:7/10(土) ～ 8/9(月)、後期:8/10(火) ～ 9/5(日)

ところ・2階展示室

内容・第二次世界大戦以降の最も重要な芸術家のひとり、ヨーゼフ・ボイス(1921-1986)。彼はひろく社会を彫刻ととらえ、社会全体の変革を企てました。そのボイスに師事したブリンキー・パレルモ(1943-1977)は、ささやかで抽象的な作品によって私たちの認識を静かに揺さぶろうとしました。一見対照的な両者をあわせて紹介する本展は、社会と芸術のかかわりについて問いかけ、芸術の営為とはなにかを見つめなおす機会となるはずです。

観覧料・一般1300円(1040円)、大高生1040円(830円)

※　(　)内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳等をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。併せてMOMASコレクションもご覧いただけます。

美男におわす

とき・9/23(木・祝) ～ 11/3(水・祝)

※　会期中一部作品の展示替えがあります。
前期:9/23(木・祝) ～ 10/10(日)
後期:10/12(火) ～ 11/3(水・祝)

ところ・2階展示室

内容・日本の視覚文化のなかの「美男」のイメージをたどり、人々が理想の男性像に何を求めてきたかを探ります。麗しい歴史上のヒーロー、江戸の粋を体現する伊達男、挿絵やマンガのなかの妖しい美青年、現代作家がとらえた男性の身体など、時代やジャンルをまたいだ多様な男性像をめぐりながら、男性を美しいものとして表現すること／見ることに光を当てます。

山村耕花《梨園の華　初世中村鴈治郎の茜半七》1920年 島根県立美術館
(※後期のみの展示)

観覧料・一般1200円(960円)
大高生960円(770円)

※　(　)内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳等をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。併せてMOMASコレクションもご覧いただけます。

MOMAS コレクション (収蔵品展)

2021年度 第2期

とき・7/17(土) ～ 10/17(日)

ところ・1階展示室

観覧料・一般200円(120円)、大高生100円(60円)

※　(　)内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。

◇セレクション

シニャック《アニエールの河岸》ほか、MOMASコレクションの名品を紹介します。

◇色彩と軌跡ージャコモ・バッラ《進行する線》を起点に

イタリア未来派で活躍した画家ジャコモ・バッラ（1871-1958）原画によるカーペットと、色彩や運動への関心があらわれた収蔵作品を紹介します。

《関連イベント》

〇サンデー・トーク

8・9月の実施は未定です。
実施する場合は、HP等でお知らせします。

クロード・モネ《ジヴェルニーの積みわら、夕日》1888-89年

ウジェーヌ・ドラクロワ《聖ステパノの遺骸を抱え起こす弟子たち》1860年 丸沼芸術の森(当館寄託)

MOMAS ステーション

とき・7/17(土) ～ 8/25(水)

ところ・1階エントランスロビー

内容・夏休み限定の子供向け受付「MOMASステーション」を設置します。初めて美術館に来る子供たちや、美術館に関する宿題がある子供たちに、美術館を楽しむためのワークシートや参考になる資料を提供したり、研修を受けたボランティアスタッフが相談に応じたりします。お気軽にご利用ください。

※　新型コロナウイルス感染症対策のため、可能な範囲での対応とさせていただきます。

アート体感ワークショップ

MOMAS のとびら

全プログラム事前予約制です。
当館ホームページからお申込みください。

《8月のプログラム》

8月は、「MOMASのとびら」の夏休み拡大版「サマー・アドベンチャー」を実施します。詳細はホームページをご覧ください。

《9月のプログラム》

9月分のお申込みを8/1(日)から受け付けます。

〇フリープログラム

とき・9/4(土) 13:30 ～ 15:00
対象・どなたでも　**費用**・無料

※　いくつかのプログラムを時間制で数回ずつ実施する予定です。

〇彫刻あらいぐま

とき・9/11(土)、9/18(土) 各日13:30 ～ 15:00
対象・小・中学生＋保護者　**費用**・無料

《10月のプログラム》

10月分のお申込みを9/1(水)から受け付けます。

〇親子クルーズ

とき・10/2(土)、10/9(土) 各日13:30 ～ 15:00
対象・小・中学生＋保護者　**費用**・500円

〇みる＋つくる

とき・10/23(土) 13:30 ～ 15:00
対象・小・中学生　**費用**・無料

※　開催日が複数あるプログラムは、いずれも同じ内容を実施します。複数の実施日にお申込みいただいても構いませんが、ご参加いただくのはそのうち１日のみとさせていただきます。また、応募が定員以上の場合は、抽選とさせていただきます。ご了承ください。

※　親子クルーズは、MOMASコレクションか企画展のどちらかに関連した活動を行います。

※　各プログラムの実施時間等は変更になる可能性があります。詳しくはホームページをご覧ください。

「MOMASのとびら」のページ
https://pref.spec.ed.jp/momas/MOMASのとびら

一般展示室 (地階)

※　日程・内容は変更される場合があります。

※　展示により開室時間(特に最終日の終了時刻)が異なります。

◆8/3(火)～8/8(日)
第5回晨翔書道会……一般展示室1・3

◆8/10(火)～8/15(日)
第55回埼玉平和美術展……一般展示室1～4

◆8/24(火)～8/29(日)
第17回水彩連盟埼玉西支部展……一般展示室1
深沢　巧　展……一般展示室4

◆8/31(火)～9/5(日)
公募新構造埼玉展……一般展示室1

◆8/31(火)～9/12(日)
ヨシズミ　トシオ展……一般展示室4

◆9/7(火)～9/12(日)
ムサ美埼玉2021展……一般展示室1
第13回フォトサークル・オプト写真展……一般展示室2
第8回私の自然展……一般展示室3

◆9/17(金)～9/19(日)
第64回埼玉書道展……一般展示室1～4

◆9/21(火)～9/26(日)
第38回埼玉県写真サロン……一般展示室1
第22回地平展……一般展示室2
フォトグループWAVE第35回写真展……一般展示室3
行雲流水・付鴻雁個展……一般展示室4

◆9/28(火)～10/3(日)
埼玉創元展……一般展示室1
musa2アート＆デザイン展……一般展示室2
第39回キヤノンフォトクラブ浦和写真展……一般展示室3

コレクションノート

アンドレアス・M.・カウフマン《小さな美術史マシーン》(1991-92年)

不定期ではありますが、当館の収蔵品に焦点をあて、収集の背景や研究成果に触れながら、作品の魅力を語る新連載を始めることになりました。最初に取り上げる作品は、現在バルセロナとケルンで活動しているアンドレアス・M.・カウフマン(1961年～)の《小さな美術史マシーン》です。この作品はMOMASコレクション第1期で展示されましたが、その機械仕掛けの光の投影に魅了された方もいらっしゃるのではないでしょうか。

現実におけるイメージのあらわれ方を問いかけてきたカウフマンは、主に空間に図像を投影する作品を発表してきました。歴史的な絵画や有名な映画のシーンなどから引用されたモチーフが空間に映し出され、時には動きを伴う仕掛けが加わります。図像は3次元に投影されるため、光源/鑑賞者/空間の物理的関係によって、イメージは明確に見えたり、大きく歪んで空間の中に解消されたりしていきます。

《小さな美術史マシーン》は、ミケランジェロによるシスティーナ礼拝堂の《アダムの創造》に描かれた創造主の手をモチーフにしています。壁際に設置され、ゆっくりと反時計まわりに回転する台に載せられたスライド・プロジェクターから、一筋の光が発生し、手のイメージが出現します。手の輪郭は歪曲しながら展示室をなでるように巡り、最後はレンズの中に消失し、闇が空間を支配します。その場に佇むと、人類の創造という図像学的解釈を超え、生成と消滅、光と闇といったより根源的な関係を感じ取ることができます。さらに、イメージとは儚い一過性の現象なのか、内面的に持続するものなのかといった、イメージの所在を巡る問いも浮上します。たった一枚のスライドによる展示にもかかわらず、これほど深度のある論点を喚起させてくれる点が、この作品の最大の魅力なのです。

アンドレアス・M.・カウフマン
《小さな美術史マシーン》1991-92 年

ちなみにカウフマンは、複数台のスライド・プロジェクターを回転させ、西洋美術史の様々な名画を空間に投影する《大きな美術史マシーン》(1992-93年)という作品も手がけています。1点の図像を投影する《小さな美術史マシーン》は、その対として制作されています。

ところで、当館はこの作品を1994年に収集しています。そのきっかけは作家を招聘して開催した1993年のプロジェクトにありました。ミュンスターでカウフマンの素晴らしい個展を目にした筆者は、当時開催していたミュージアム・シアターのプログラムの中で、この若手作家の光のインスタレーションを紹介する計画を立てます。作家がドイツで助成を得たこともあり、日本で滞在制作をしながら、当館だけではなく市内の玉蔵院、都内の佐賀町エキジビット・スペースの3会場を連動させたプロジェクトを実施する案に発展します。

当時の日本の公立美術館では、評価が定着していない若手作家の紹介をためらう風潮があり、国外作家の滞在制作も盛んではありませんでした。そういった珍しさも手伝って、建築学科や学芸員実習生などの学生ボランティアが熱心に集い、作家と一緒に手作りでプロジェクトを練り上げていきました。日本滞在が初めてであったカウフマンにとっても、優秀な学生ボランティアとの密な協働は大いに刺激になり、プロジェクトはプロセスも含め貴重な実践の場となりました。それを記念する置き土産として、作者が当館に寄贈してくださった作品がこの《小さな美術史マシーン》なのです。作品収集の由来として、永く記憶に留めておく必要があるでしょう。(H.I.)

ミュージアム・ショップおすすめ商品

今回はアートオリガミをご紹介いたします。モネ、ファン・ゴッホ、クリムトのアート柄３種類があります。折り紙として作品を作るのも楽しいですし、メッセージカードやポチ袋を作っても素敵です。裏面も色付きなので、両面が見えてきれいに仕上がります。オリジナルな発想でアートオリガミをご活用ください。

アートオリガミ　¥660 円（税込）
15×15cm　20 枚入（4 柄 × 各 5 枚）

編集後記

7月下旬から8月中旬にかけて、サマー・アドベンチャーの講師・関口光太郎さんが吹抜け周りの1階ギャラリーにて、公開制作を行う予定です。新聞紙とガムテープを使った作品を制作予定ですので、どうぞご覧ください！(H.I.)

「コレクションノート」が始まりました。できる限り開催中の展覧会に関連する作品を取り上げていきたいと思います。(M.H.)

埼玉県立近代美術館
The Museum of Modern Art, Saitama

所在地・〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1
TEL・048-824-0111　**FAX**・048-824-0119　**代表メール**・p240111@pref.saitama.lg.jp
URL・https://pref.spec.ed.jp/momas/
開館時間・10:00～17:30（展示室への入場は17:00まで）
休館日・月曜日（8/9、9/20 は開館）　**入館料**・無料　**観覧料**・上記をご覧ください。

交通・JR京浜東北線 北浦和駅西口より徒歩3分(北浦和公園内)。JR東京駅、新宿駅から北浦和駅まで、それぞれ約35分。
※当館に専用駐車場はありませんが、提携駐車場「三井のリパーク 埼玉県立近代美術館東」では駐車料金の割引があります(企画展観覧で300円引き、MOMASコレクション観覧で100円引き)。
団体バスは事前にご相談ください。お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたします。
ただし、台数に限りがありますので、事前にご連絡をお願いします。

©埼玉県2005

※本紙記載の展覧会やイベントについては、新型コロナウイルス感染拡散防止のため、変更・中止となる場合があります。来館の際は、事前に当館ホームページをご確認ください。

発行・埼玉県立近代美術館　**編集**・平野到・真中博行　**原稿執筆**・(G.R.) 五味良子 / (S.Aya.) 佐伯綾希 / (S.Ayu.) 佐藤あゆか / (H.I.) 平野到 / (M.H.) 真中博行　**広報協力**・JR 東日本大宮支社